

は　じ　め　に

昭和23年8月に設置された当衛生研究所は、間もなく40年の節目を迎えようとしております。

この間、地域における衛生行政の技術的中核としてその役割を果たすために逐次組織の強化、機器の整備が図られてきました。

しかし、近年の科学技術の目覚ましい進展と社会経済の急激な変化は、あらゆる分野に多くの問題を提起し、地方衛生研究所においても対象業務の拡大、技術の高度化、情報の迅速化等を求められております。

このたび全国地方衛生研究所協議会では「地方衛生研究所の今後のあり方に関する研究」及び「先端技術導入に伴う地方衛生研究所強化に関する研究」の報告書を作成されましたが、これを機に今後一層の強化が図られることを望むものであります。

当研究所は全国的には小規模の研究機関に属しますが、新しい時代に取り残されないよう感染症対策、環境衛生対策、食品衛生対策等に所員一同努力しております。今後ますます多様化する行政需要、県民ニーズにこたえられるよう一層研さんに励んで行きたいと思っておりますので、何分の御指導、御鞭撻をお願いします。

このたび、昭和61年度の所報として1年間の業務の概要と日々積み重ねました調査研究の報文をとりまとめましたのでお届けいたします。御高覧のうえご意見、ご批判をいただければ幸いです。

昭和63年3月

所長　角　田　嘉　宏